



Future begins with engineers and JSPE

ホーム
Home

JSPEについて
About JSPE

技術倫理
Ethics

イベントカレンダー
Events

刊行物
Publications

[最新情報Home](#)

第44回 Engineers' Salon 報告書

－ テーマ 「エンジニアに必要なコミュニケーション能力をどう磨くのか？」 －
How to brush up your communication skill as an engineer

日時：2009年11月11日(水) 午後7時～9時30分

場所：赤坂事務所

出席人数：8人

参加者：望月（講師）、神野、飯塚、藤村、金城、太田、村田、平山（順不同、敬称略）

産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格をお持ちの望月瑞さん（千代田化工建設）にエンジニアに必要なコミュニケーション能力をどう磨くか教えていただきました。

1、資格を取るまでのきっかけ、その効果

会社業務でインド子会社とのプロジェクトリーダーとして参画。プライドの高いインド人との激務、なかなか自分の思うように仕事が進まない中で、エンジニアには技術的知識だけでなくコミュニケーション能力が非常に重要であることを体感。

2004年から社外講習を受け、コミュニケーションマネジメントを身に着けるべく資格を取得。その結果、チーム作業の効率が格段に向上し、2007年には社長賞（銅賞）を獲得。インド子会社の方々からも大いに賞賛されるまでにいたる。

2、コミュニケーションマネジメント学習後にインド子会社とのプロジェクトの中で実際に行ったこと

イ、コミュニケーション頻度の向上、

特に用事がなくても週3回は電話するよう心がけた。これにより業務レポートには現れない問題点の把握ができ、かつ仲間意識も高まった。

ロ、感謝を表現する

レポートなど何か提出物を受け取ったときや、何かをしてもらったときには必ず感謝の気持ちを口で伝えた（もちろん英語）。提出物の内容に多少物足りなさがあったとしてもまずは“提出してくれてありがとう”と言う。欧米人のようにほめ上手になることが大切。

ハ、口で復唱

メールでの依頼内容を電話で復唱してもらうようよう心がけた。そうすることで相手が依頼内容をどのような手順行うのか、どのような言葉をどういう意味で使うのかを理解できた。

3、コミュニケーションを上手に図る上での重要要素

「ラポール」 (*1) の形成をしよう

“一緒”感、仲間意識が強化されればラポールの形成がされやすい。例えば感謝の気持ちを的確に伝えるなど、心地よさの向上に努めること。相手の個人的側面に対する理解も重要。

エンジニアの観察力、洞察力を対人関係に発揮しよう！

(*1)心理学用語、仏“橋をかける”の意

4、コミュニケーションはキャッチボール

早口の人と対するときはテンポよく受け答えをするなど、相手にあった話し方に気を配ること。

相手の声の高さ、姿勢、勢い、使う単語、視線、呼吸などに注意し、心地よいコミュニケーション環境を作る。

5、自分を良く知り、相手を良く知る

自分の当たり前は相手の当たり前ではないことを認識する。

同じ言葉をかけても人によって理解度は違い、同じ体験をしても人により反応は異なる。

例えば、

「白い鳥」と言われてはじめて思いついた鳥の種類は、白鳥、はと、ふくろう などなど参加者によってまちまちであったことを確認した。

6、番外編

イ) NLP

望月さんはNLP (neuro-linguistic programming) の資格を取得し、大きくコミュニケーション能力を向上させた。NLPはベトナム戦争後アメリカで開発された「神経言語プログラム」であり、成功者の思考や行動モデルを脳にプログラムすることによって成功体験に結びつけるというスキル。ヒラリー・クリントンはこの技術を駆使し、夫のビルを大統領にまで登らせたともいわれている。

ロ) 日ごろからできるちょっとしたこと

ため息は上を向いてつこう

次回ES開催

2010年1月中の水曜日を予定しており、話題は検討中です。

(文責：平山)

以上

2009年11月25日(水)18時00分 [この記事のURL](#) [Event](#) [admin](#)